

医療関係者の皆様

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する

NCGM センター病院 手術管理部門の対応

ver 1.0 2020年5月7日

1. 手術管理部門の対応 [【手術室での COVID-19 感染対策（要約）】](#)

NCGM 手術部では4月1日より始まった病院全体のコロナ対策会議の方針に基づき、4月9日より、不急の手術を延期としました。多くの手術に関わる診療科の協力のもとに、悪性腫瘍や緊急手術を優先に行うようにした結果、手術列は6.7列、件数は3.4割となりました。その後 COVID-19 感染疑いの緊急症例が増え、ゾーニングを実施しています。その影響もありロボット手術は中止としました（5月より再開）。

<https://www.jssoc.or.jp/aboutus/coronavirus/info20200402.pdf>

<https://www.jssoc.or.jp/aboutus/coronavirus/info20200414.pdf>

2. 手術前チェックリストの運用 [【NCGM COVID-19 感染 チェックリスト】](#)

COVID-19 感染蔓延に伴い、呼吸器症状や濃厚接触、発熱の状況を厳密にチェックする必要性を感じ、手術全症例にチェックリストの運用を開始しました。

3. ゾーニングの必要性

緊急症例では、COVID-19 感染を否定できない症例があり、感染の検査はもちろんですが、手術室内の感染を防ぐために、手術室のゾーニングを行なっています。陰圧室は1室有しているので、陰圧室を第一選択に、さらに2例目の緊急手術にも対応できるようにゾーニングを行い、患者さんにも、医療スタッフにも安全にできるように工夫しています。ただし、その影響でロボット手術を一時延期せざるを得なくなりました。

4. 全身麻酔における導入、抜管時における注意

全ての全身麻酔下の症例に対して、感染防御の準備、操作時における飛沫飛散防止の徹底、事前シミュレーションを行い、少人数でより安全な感染防御と麻酔法に変更しています。

https://anesth.or.jp/img/upload/ckeditor/files/2004_07_05.pdf

https://anesth.or.jp/img/upload/ckeditor/files/2004_07_01.pdf

5. 腹腔鏡手術でのエアロゾル発生に対する予防

Air Seal を全ての腹腔鏡手術に使用しています。4台所有しています。

6. 術衣の脱着方法について

各職種での術衣の脱着方法をお示しします。施設により方法は異なりますので、参考にしてくださいと幸いです。

各施設での感染症内科や ICT にも相談して施設ごとの方法が良いと思います。

- ①看護師（器械出し、外回り）[【PPE 着脱手順 看護師バージョン】](#)
- ②医師用 [【PPE 着脱手順 外科医バージョン】](#)

7. 今後も状況は変わっていきますので、随時更新していきます。

NCGM 国立国際医療研究センター病院 手術管理部門

